

## 平成29年度 関東女子倶楽部対抗新潟会場予選競技 組合わせ及びスタート時間表

(参加者 17倶楽部・85名)

期日：6月9日(金)

場所：紫雲ゴルフ倶楽部 飯豊コース

(18ホール・ストロークプレー)

関東ゴルフ連盟

1番よりスタート

組	時間	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部
1	8:00	竹田 朋子	日本海	伊藤 美砂子	湯田上	相崎 博美	長岡		
2	8:09	中山 敬子	笹神五頭	田村 幸子	紫雲	澤田 麻里	櫛形		
3	8:18	仲丸 きよ枝	越後	小野 キヨミ	柏崎	近藤 愛子	フォレスト	廣辺 千尋	松ヶ峯
4	8:27	渡部 悠里	櫛形	小林 和子	妙高	河内 千代子	ヨネックス	木村 佑子	柏崎
5	8:36	中山 慶子	紫雲	近藤 明子	新津	徳島 妙子	新発田城	岡元 雅子	越後
6	8:45	清野 泉	十日町	土田 さよ子	ヨネックス	藤田 和子	フォレスト	原田 雪枝	日本海
7	8:54	滝沢 美津枝	松ヶ峯	滝沢 一子	長岡	鈴木 直子	中条	渡部 裕子	櫛形
8	9:03	関谷 敏子	十日町	高野 律子	ヨネックス	西條 咲子	松ヶ峯	伊藤 恵里香	湯田上
9	9:12	中川 高子	妙高	坂井 貴子	笹神五頭	福井 春子	柏崎	水科 裕子	米山水源
10	9:21	小形 雅子	中条	中嶋 京子	妙高	高橋 マサミ	フォレスト	川端 希久恵	湯田上
11	9:30	藤崎 景子	紫雲	吉崎 貞子	新発田城	富田 優子	米山水源	本間 友里恵	新津

10番よりスタート

組	時間	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部
12	8:00	弓納持 久子	米山水源	高橋 恵美子	十日町	石川 房子	中条		
13	8:09	平野 まり子	新津	横山 イツ子	妙高	仁木 知子	新発田城	中村 富貴子	ヨネックス
14	8:18	遠藤 紀子	日本海	佐藤 寿子	長岡	柳 まゆみ	十日町	戸枝 亜紀子	笹神五頭
15	8:27	大嶺 洋子	松ヶ峯	五十嵐 真里子	湯田上	小池 栄子	米山水源	松木 麻子	中条
16	8:36	高橋 英子	フォレスト	佐藤 穂波	湯田上	小菅 園恵	米山水源	西野 美千代	笹神五頭
17	8:45	松原 美奈子	新津	寺島 浩子	紫雲	白川 加代子	妙高	山田 たつ子	越後
18	8:54	清水 修子	新発田城	岩本 一枝	柏崎	小島 由美子	日本海	齋藤 政子	櫛形
19	9:03	和田 栄美子	中条	柏 香織	新津	印牧 桂子	越後	高頭 淳子	長岡
20	9:12	石井 寿美代	フォレスト	田辺 久子	新発田城	梨本 祐子	紫雲	小野 晴美	日本海
21	9:21	渡部 修子	笹神五頭	高野 祐子	ヨネックス	下間 美香	松ヶ峯	鈴木 静子	長岡
22	9:30	大淵 美奈子	越後	井上 則子	十日町	布川 泰子	櫛形	小林 博子	柏崎

競技委員長 安井新吉

# 平成 29 年度 関東女子倶楽部対抗新潟会場予選競技

開催日 : 6月9日(金)

開催コース : 紫雲ゴルフ倶楽部 飯豊コース

本競技は日本ゴルフ協会発行のゴルフ規則とこのローカルルールと競技の条件を適用する。

本書に記載の無い事項や追加変更がある場合は競技規定やプレーヤーへの通知文書、または競技会場での掲示物に掲載されるので必ず参照すること。

ゴルフ規則によって別に定められている場合や本書に罰が記載されている場合を除き、このローカルルールと競技の条件の違反の罰は、「2打」とする。

## ローカルルール

- アウトオブバウンズ(規則 27-1)  
アウトオブバウンズの境界は白杭をもって標示する。
- ラテラル・ウォーターハザード(規則 26-1)  
ラテラル・ウォーターハザードは赤杭または赤線をもってその限界を標示する。線と杭が併用されている場合は線がその限界を標示する。
- 修理地(規則 25-1)  
修理地は青杭を立て、白線をもってその限界を定める。ただし、次のものを含む。
  - パッティンググリーンの前後のペイントマークを含み、スルーザグリーンの芝草を短く刈った区域にあるヤーデージマーキングペイント(スタンスへの障害は除く)。
  - 2番と3番ホールの中のナーセリーはプレー禁止の修理地とする。
- 動かさない障害物(規則 24-2)
  - 排水溝
  - 人工の表面を持つ道路に接した排水溝(その道路の一部とみなす)
  - 動かさない障害物と白線につながれている区域(その動かさない障害物の一部とみなす)
- コースと不可分の部分
  - 樹木やその他の恒久的な物件に巻きついたり、密着させてあるもの。
  - ラテラル・ウォーターハザード内にある人工の壁や杭でできた構造物。
- 電磁誘導カート用の 2 本のレール  
電磁誘導カート用の 2 本のレールは、全幅をもってプレー禁止の修理地とする。ただし、スタンスのみが障害となる場合は、そのままプレーすることもできる。
- 防球ネット  
3番ホールグリーン右側の防球ネットに球が近接しているためにスタンスや、意図するスイングの区域の妨げになる場合、規則 24-2b(i)により処置するときは、その障害物の中や下を通さずに救済のニヤレストポイントを決めなければならない。
- パッティンググリーン上で球が偶然に動かされること  
規則 18-2, 20-1 は以下の通りに修正される。  
プレーヤーの球がパッティンググリーン上にある場合、その球やボールマーカーがプレーヤーまたはキャディーや携帯品によって偶然に動かされても罰はない。その球やボールマーカーはリプレースされなければならない。このローカルルールはプレーヤーの球やボールマーカーがパッティンググリーン上にあり、いかなる動きも偶然である場合にだけ適用する。  
注: パッティンググリーン上の球が風、水あるいは重力などの他の自然現象の結果として動かされたものと判断された場合、その球はその新しい位置からあるがままの状態プレーされなければならない。また、そのような状況で動かされたボールマーカーはリプレースしなければならない。

## 距離表

Hole No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	OUT
Yards	309	154	315	138	427	312	325	321	432	2733
Par	4	3	4	3	5	4	4	4	5	36

10	11	12	13	14	15	16	17	18	IN	TOTAL
462	317	112	436	323	305	321	154	332	2762	5495
5	4	3	5	4	4	4	3	4	36	72

## 競技の条件

### 1. 参加資格

プレーヤーは競技規定に定められた参加資格を満たさなければならない。

### 2. 委員会の裁定

委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。

### 3. 使用クラブの規格

『適合ドライバーヘッドリストの条件・付属規則 I(B)1a』を適用する(ゴルフ規則 176 ページ参照)。

### 4. 使用球の規格

『公認球リストの条件・付属規則 I(B)1b』を適用する(ゴルフ規則 177 ページ参照)。

### 5. ゴルフシューズ

正規のラウンド中、プレーヤーが金属製・セラミック製、または委員会がそれと同等と認めた鋳を有するゴルフシューズを使用することを禁止する。この条件の違反の罰は競技失格。

### 6. プレーの中断と再開

(1) 通常のプレーの中断(落雷などの危険を伴わない気象状況)については、規則 6-8b,c,d に従って処置すること。

(2) 険悪な気象状況にあるため、委員会の決定によりプレー中断となった場合、同じ組のプレーヤー全員がホールとホールの間をいたときは、各プレーヤーは委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。1 ホールのプレーの途中であったときは、各プレーヤーはすぐにプレーを中断しなければならない。そのあと、委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。プレーヤーがすぐにプレーを中断しなかったときは、規則 33-7 に決められているような罰を免除する正当な事情がなければ、そのプレーヤーは**競技失格**となる。

険悪な状況による中断中は、委員会がオープンと宣言するまで、すべての練習施設はクローズとなる。クローズとなった練習施設で練習しているプレーヤーは練習を止めるように要請される。その要請に従わなかった場合、参加を取消しとすることがある。

(3) プレーの中断と再開の合図について

プレーの即時中断 :	}	乗用カートに搭載されている無線機を通じてプレーヤーに連絡する。
プレーの中断 :		
プレーの再開 :		

と同時に、本部より競技委員を通じてプレーヤーに連絡する。

### 7. 練習

ホールとホールの間での練習を禁止する(規則 7-2 注 2)『付属規則 I(B)5b』(ゴルフ規則 181 ページ参照)。

### 8. キャディー(規則 6-4 注)

正規のラウンド中、プレーヤーが委員会によって指定された者以外をキャディーとして使用することを禁止する。この条件の違反の罰は『付属規則 I(B)2』を適用する(ゴルフ規則 179 ページ参照)。

### 9. 競技終了時点

競技委員長長の成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。

## 注意事項

1. 競技の条件 5 項において規制されるシューズ以外でもパッティンググリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とすることがある。
2. 競技委員会は競技中を含めいつでも、出場にふさわしくないと判断したプレーヤーの参加資格を取り消すことができる。
3. 競技委員会は規則 33-7 に基づき、すべての競技関係者、ギャラリーへの暴言等を含めエチケットの重大な違反があったプレーヤーを競技失格とすることができる。
4. 打放し練習場においては備付けの球を使用し、スタート前の練習は 1 倶楽部 5 コイン(150 球)を限度とする。
5. アプローチ・バンカー練習場は自己の球を使用し、スタート前の練習は使用可とする。

競技委員長 安井新吉